

青少年健全育成町民会議

年頭所感

青少年健全育成町民会議
代表 笠井 正憲

新年あけましておめでとございます。日頃より、町民の皆さんには本会の活動に対し、深いご理解と協力を賜り心より感謝申し上げます。令和の新しいスタートで日本が世界一、唯一の2600年続く素晴らしい国であることを再認識した方もいらっしゃるのではないかと思います。子どもたちにも日本は素晴らしい国であると伝えていただきたいです。

新しくスタートした2年目はワフワドキドキが連続する年になると思います。

- 1月 冬季ユースオリンピック
 - 2月 スイスローザンヌで開催
 - 2月 改元後初めての天皇誕生日
 - 4月 知恩院・国宝御影堂大修理終了し落慶法要開催予定
 - 6月 UEFA EURO2020開催
- 全国で部分日食が観測される

ご都合に合わせて受けられます

個別特定健診

健診期間 3月31日火 まで
申込期限 3月13日金
申込 保健福祉課健康推進G ☎72-2000

特定健診は、生活習慣病の発症と重症化を予防するための健診です。治療中の方も受診できます。

対象者	実施医療機関	曜日	受付時間	健診の内容	料金
40～74歳の 新十津川町 国民健康 保険加入者	空知中央病院	月～金	午前9時30分 10時 10時30分	・身体計測 (身長、体重、BMI、腹囲) ・血圧測定 ・血液検査 (血糖、血中脂質、肝機能、腎機能、貧血) ・尿検査 (糖、蛋白、潜血) ・心電図検査 ・医師の診察 (医師の判断により眼底検査)	無料
	花月クリニック ※希望者は自宅まで 送迎あり	月～金 ※木曜日は 応相談	午前8時30分		

※平成31年4月以降に、すでに特定健診を受診された方は対象外です。

健診実施医療機関からのおはなし

「地域住民の健康を守るために」

医療法人社団 和漢人会 花月クリニック 辻 和之 先生

当院は医療法人を立ち上げて20年になります。町立国民健康保険所を引き継いだ後も、町との連携を取り合いながら運営してきました。高齢化社会の中でかかりつけ医として地域社会に貢献できるように、広く患者さんの悩みを聞いて、機能していければと考えています。

「健康寿命の延伸対策の一つとして、定期的な健診が欠かせない」と思いますが、アドバイスはいただけますか？

まずは、医療機関にかかっていても限られた検査しか受けていない方もいますので、オールラウンドに検査できる特定健診の受診は隠された異常の発見にもつながります。

2つ目に、医療機関にかかっていても治療効果が思わしくない場合、糖尿病のように生活習慣を是正することで改善できることもありますので、保健師・栄養士のアドバイスで改善のチャンスを得ることができるとメリットがあります。

「町では健診結果の返却時に保健指導を行っています。日常の生活で気を付けることはありますか？

保健師や栄養士は特に通院して

いる方に対して、今どういう治療を行っているかということに目を凝らしています。今かかっているから安心というわけではなく、検査の数値が悪い、例えば血糖コントロールが良くないとき当院へ相談して改善した例もあったので、自分の健康状態がどういう状況なのか保健師からしっかり見てもらえらることに、受ける価値が非常にあります。

「普段から健診を受けていない方は、まず自分の身体の状態を知ること」という意味で、特定健診は不可欠なものと考えてよいでしょうか？

そうですね。特に新十津川町の特定健診は、他市町村で有料のところがある一方で、無料ですからぜひ利用されるというですね。

「健康長寿のためには、後期高齢者になつてからの健康維持も重要である」と思います。

健康寿命を延伸するには手遅れにならない医療が必要で、早めに対策を講じること、当院もそれを心掛けています。心臓の負荷心電図を撮ったり、動脈硬化に早期に予防介入を撮ったりと早くに疾患を見つけるための検査を行う対策をしています。



辻 和之 先生

また、当院のような有床診療所の場合、患者さんにとっては何かあったら入院して治療ができるという安心感があると思います。近年有床診療所が非常に少なくなっている中で、困ったことがあればいつでも相談を受けて入院を含めて対応できる環境を整えています。例えば、普段は自宅にいます患者さんの家族の事情などによる短期間の入院受け入れのほか、病状によつてはがん末期の患者さんの受け入れや住診も行っています。

「これまでの20年間で、先生が見てきた変化と今後の予測を教えてください。」

高齢者の医療費が無料の時もありましたが、医療費の負担が徐々に増えてきて介護保険料も上がった結果、受診を控えるなど健康管理が弱かされていきます。今後高齢者が増えますので、患者さんのニーズに合わせた早期発見・早期治療を目指していこうと思っています。

理事研修会

11月6日、第2回理事会終了後に研修会を開催しました。今回は、学校運営協議会について、本町での取組を新十津川中学校の國行宏昭校長から話していただきました。

○組織の構成

保護者、地域の方々、各団体、学校長、教育委員会などで構成する。

○活動の概要

学校経営方針の承認、学校評価を基に児童生徒の情報共有、地域と学校との協働活動を行う。

○協働活動推進に関わって

・学校は教育活動の啓発と協働活動の具体的なアイデアを発信する。
・地域は情報提供と地域住民のつながりをもつ。
・教育委員会は協働活動を調整しまとめる。

○コミュニティ・スクール

協力者を増やすため広報活動を行う。

続いて、滝川警察署生活安全課長 早川信之氏から、少年非行の現状、子どもの見守りについて講話がありました。

○少年非行の現状

北海道では減少傾向。滝川署管内では、少年の喫煙、飲酒、深夜徘徊、不健全娯楽が主となっている。

○子どもの見守り

子どもが被害にあつた事件が増えている。

具体例として、新潟県で小学生女児がさらわれ殺害された事件と神奈川県でバス待ちの複数の人が刃物で切り付けられた事件から、

○子どもの見守り活動

仕事など何かをしなごらでの見守りも効果がある。

○地域社会のつながりの大切さ

地域での防犯の大切さを共有する。予防が何よりも重要である。

○不審者から命を守る方法

滝川の小学校での防犯教室では「イカのお寿司」「はちみつまん」を紹介。



研修会の様子